

平成29年度貝毒原因プランクトン出現状況(No.11)

通報番号 (MG) - (29) - (19)
 通報月日 平成29年6月19日
 機関名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	採水層(m)	水温(°C)	塩分	貝毒原因プランクトン出現数(細胞数/L)						備考	
					<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.		
					6月19日調査	6月12日調査	6月19日調査	6月12日調査	6月19日調査	6月19日調査		6月12日調査
荻浜内湾	6/19	0~10	0m	17.7	31.72	20	60	0	0	0	10	30
			5m	15.4	32.70							
			10m	12.5	33.35							
荻浜沖合	6/19	0~10	0m	17.9	31.55	20	50	20	20	0	0	20
			5m	17.5	31.59							
			10m	13.1	33.21							
			B-1	11.5	33.43							
塚浜	6/19	0~20	0m	16.1	31.05	10	130	10	10	10	10	0
			5m	16.3	31.67							
			10m	13.9	33.11							
			15m	11.8	33.38							
			20m	11.1	33.46							
			B-1	10.6	33.50							

※プランクトンを計数するための採水方法を昨年度までは、0m,5m,10m等の層別に採水していましたが、平成29年度からは荻浜では0~10m、塚浜では0~20mまでホースを使用して柱状に採水する方法に切り替えました。このことにより、貝毒原因プランクトンがどの層にいても採取することができるようになりました。(これまでと同じく海水1L当たりのプランクトン数を表示していますので、数値は大きくは変わりません。)

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン *Alexandrium* spp. は、荻浜内湾・沖合・塚浜で0~10細胞数/Lと前回(6/12)同様低位となっています。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン *D.fortii* は、塚浜で10細胞数/Lと減少(前回:130細胞数/L、前々回:720細胞数/L)しています。荻浜においても、内湾・沖合ともに減少傾向となっています。
- また、*D. acuminata* は、塚浜で10細胞数/L(前回10細胞数/L)と低位で推移しています。荻浜内湾では確認されず(前回も確認されず)、沖合でも20細胞数/L(前回20細胞数/L)と低位となっています。
- ・荻浜の表面水温は、16.5~17.3°Cで、前回より内湾で0.6°C降温し、沖合で1.4°C昇温しました。また、塚浜の表面水温も前回より2.2°C昇温しました。

◎貝毒プランクトン参考情報

調査地点	調査月日	採水層(m)	貝毒原因プランクトン出現数(細胞数/L)						備考	
			<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.		
			6月19日調査	6月12日調査	6月19日調査	6月12日調査	6月19日調査	6月19日調査		6月12日調査
十三浜	6/19	0~10	30	520	130	110	10	0	0	県漁協採水
谷川			0	380	20	80	0	10	0	県漁協採水

- ・下痢性貝毒原因プランクトン *D.fortii* は、十三浜で30細胞数/L(前回520細胞数/L)、谷川で0細胞数/L(前回380細胞数/L)と減少しています。
- また、*D. acuminata* も、十三浜で130細胞数/L(前回110細胞数/L)と同様の水準を保っています。谷川では20細胞数/L(前回80細胞数/L)と減少しています。

・次回調査日は6/26を予定しています。

担当:環境資源部 山崎
 TEL:0225-24-0139,FAX:0225-97-3444